

岩田慶治先生追悼シンポジウム

草木虫魚と向きあう



(北部タイ・プルアン村にて 1968年)

岩田慶治は人間の文化の外にある、文化を包みこむ世界を探し求めた稀有な人類学者です。地理学を志した若いころ、自然の側から人間をみる方法を模索したといます。万物の美的秩序「コスモス」というフンボルトの理念、禅寺に止宿し読んだ道元の「正法眼蔵」は、氏がつねに立ち帰る学問的原風景です。

ラオスにはじまる東南アジア各地を巡る調査行で、草木虫魚のたましいにであいます。それは文化や社会をこえて、自分からも自由になる生き方の研究になっていきました。このシンポジウムは本年二月に逝去された岩田慶治氏の生涯をかけた思索の道筋をたどり、人類学の里程標としようとするものです。

プログラム

開 会 (12:30 より)

国立民族学博物館長挨拶

第1部 東南アジアの足跡

松本博之 / 櫻永真佐夫

第2部 からだ・ところ・たましい

野村雅一 / 内堀基光 / 長谷千代子

第3部 フィールドワークの方法と理論

関根康正 / 松田素二 / 鈴木晋介

第4部 総合討論

閉 会 (17:30 まで)

日時 2013年10月19日(土) 午後12時30分～17時30分

場所 国立民族学博物館 第4セミナー室

参加無料・要申込み (お申込み方法は裏面をご覧ください)

【主催】国立民族学博物館、岩田慶治先生追悼シンポジウム実行委員会
日本学術振興会・2011-2015年度科学研究費補助金基盤研究(A)一般「ストリート・ウィズダムと新しいローカリティの創発に関する人類学的研究」

あるとき 法然院の前の木々の茂ったところで
斜に私の眼の前を何ものかが通りすぎていった
砂糖菓子のような小さい雪の塊だった

その塊がアスファルトの路面にあたって 音もなくくずれて消えた
雪がひとつの(時)を生んだのだ

.....
雪は(時)という触手で大地に触れているのだ

雪は大地というピアノのキーに触れて 音のない音楽をかなでていたのだ

このとき 雪は(無時)という本質で大地を包んだのだ

雪が大地を認識していたのではなからうか (岩田慶治「認識する夢」より)



岩田慶治

一九二二年横浜に生まれる。京都大学特別研究生を修了。立命館大学を経て、大阪市立大学、東京工業大学、国立民族学博物館、大谷大学で研究教育にたずさわる。東京工業大学名誉教授、国立民族学博物館名誉教授。青年期の疾風怒濤時代、アレクサンダー・フォン・フンボルトの『コスモス』と道元の『正法眼蔵』によってみずからの魂の輪郭を確かめる。一九五〇年代後半〜一九八〇年代、東南アジアと南アジアへ調査におもむき、大地とともに暮らす生きとし生けるものの源流をもとめる。その中で出会い、手に入れた種子から実生の宇宙樹をえがく。カミ信仰のものをなす「アニミズム論」、子どもの遊びに天地との自由な呼応をみる「自我一元論」、生と死の波打ち際で彼岸と此岸を同時にみつめる「地と柄論」、文字によらないコスモスを映し出す「原風景論」はその幹であり、枝である。つねに裸の人間を希求し、その根源を問いつづける。

『草木虫魚の人類学』、『カミの人類学』、『コスモスの思想』、『道元の見た宇宙』などの多数の著書のほか、『岩田慶治著作集』(全八巻)がある。二〇一三年二月 逝去。

◎参加申込み方法

シンポジウムに参加をご希望の方は、電子メール・FAX・電話のいずれかの方法で事前にお申込みください。お申込みの際には、「お名前、参加をご希望される方の人数、代表者のご連絡先」をお知らせください。参加は無料です。なお会場は席が限られていますので、ご予約なしのご参加はお断りいたします。ご了承ください。

【お申込み先】

岩田慶治先生追悼シンポジウム実行委員会事務局（関西学院大学社会学部 関根康正研究室内）

電子メール cte57208@kwansei.ac.jp

電話・FAX 0798-54-7462

*おかけ間違いのないようご注意ください。留守でもメッセージを残していただければ、折り返しご連絡いたします。

【シンポジウムについてのお問い合わせ先】

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155 関西学院大学社会学部 関根康正研究室 電話(直通) 0798-54-7462

国立民族学博物館

交通のご案内 国立民族学博物館(みんぱく)は大阪・千里の万博記念公園内にあります。

●大阪モノレール…「万博記念公園駅」下車、徒歩約15分

*映画会のみ参加される方は、自然文化園(有料区域)を通行される場合、入園料が必要となります。

●バス……………「公園東口駅」下車、徒歩約15分

*「公園東口駅」からは自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。

●タクシー……………万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れられます。

●乗用車……………万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分

*「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある「国立民族学博物館専用通行口」をお通りください。

〒565-8511

大阪府吹田市千里万博公園10番1号

広報企画室 企画連携係

Tel:06-6878-8210

(土日祝を除く 9:00~17:00)

<http://www.minpaku.ac.jp/>

公式 Facebook :

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official>

